

## 5. コロナ禍からの経済再生

これまで区は、新型コロナウイルス感染症対応方針を策定し、これに基づく緊急経済対策として区内事業者の事業の継続・雇用の維持に最優先に取り組んできました。

引き続き、区内経済の維持・継続と回復を後押しするとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ社会に対応するための取組に対する支援など、産業構造や事業活動の変化への対応を支援していきます。



■第8回板橋オプトフォーラム基調講演で講演する合田圭介東京大学大学院理学系研究科・理学部教授

## 6. SDGsへの貢献

持続可能な開発目標（SDGs）とは、令和12（2030）年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上に「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

事業計画2025では、各事業に該当するゴールが一目で分かるよう、計画事業の詳細ページにSDGsのマークをそれぞれ記載しています。



■SDGsで設定されている17のゴール

## 7. 区のこれまでの取組



■板橋オプトフォーラム チラシ



■空き店舗活用事業「板五米店」オープン

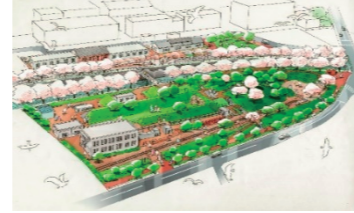
区は、板橋オプトフォーラムをはじめ、宇都宮大学の教授陣が技術相談を行う宇都宮大学光学サポートオフィスの開設や、光学に関する展示会である「OPIE」への共同出展、光とレーザーの科学技術フェアの後援など、地場産業である光学関連企業に対する支援を積極的に展開しています。

板橋宿にある土蔵造りの商家「板五米店（大正3年築）」を、仲宿商店街振興組合が空き店舗活用事業を活用して、令和元（2019）年12月に地域の交流拠点としてリニューアルオープンさせました。地域活性化に向け、周辺商店街や民間事業者と連携しながら、様々な事業を展開しています。



■板橋区初の認定農業者の誕生

農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者制度を活用し、令和元（2019）年度に4農業経営体を板橋区初の認定農業者として認定しました。今後、認定した事業計画に基づき、意欲的な農業者の経営の改善を区が重点的に支援していきます。



■（仮称）板橋産業ミュージアムの整備

平成29（2017）年度に国史跡指定された「陸軍板橋火薬製造所跡」を「（仮称）史跡公園」として整備するとともに、公園内にある「旧理化学研究所板橋分所」跡を「（仮称）板橋産業ミュージアム」として開設するため、各種計画等を策定し検討を進めています。



左記二次元バーコードから、板橋区産業振興事業計画2025の本編をご覧ください。

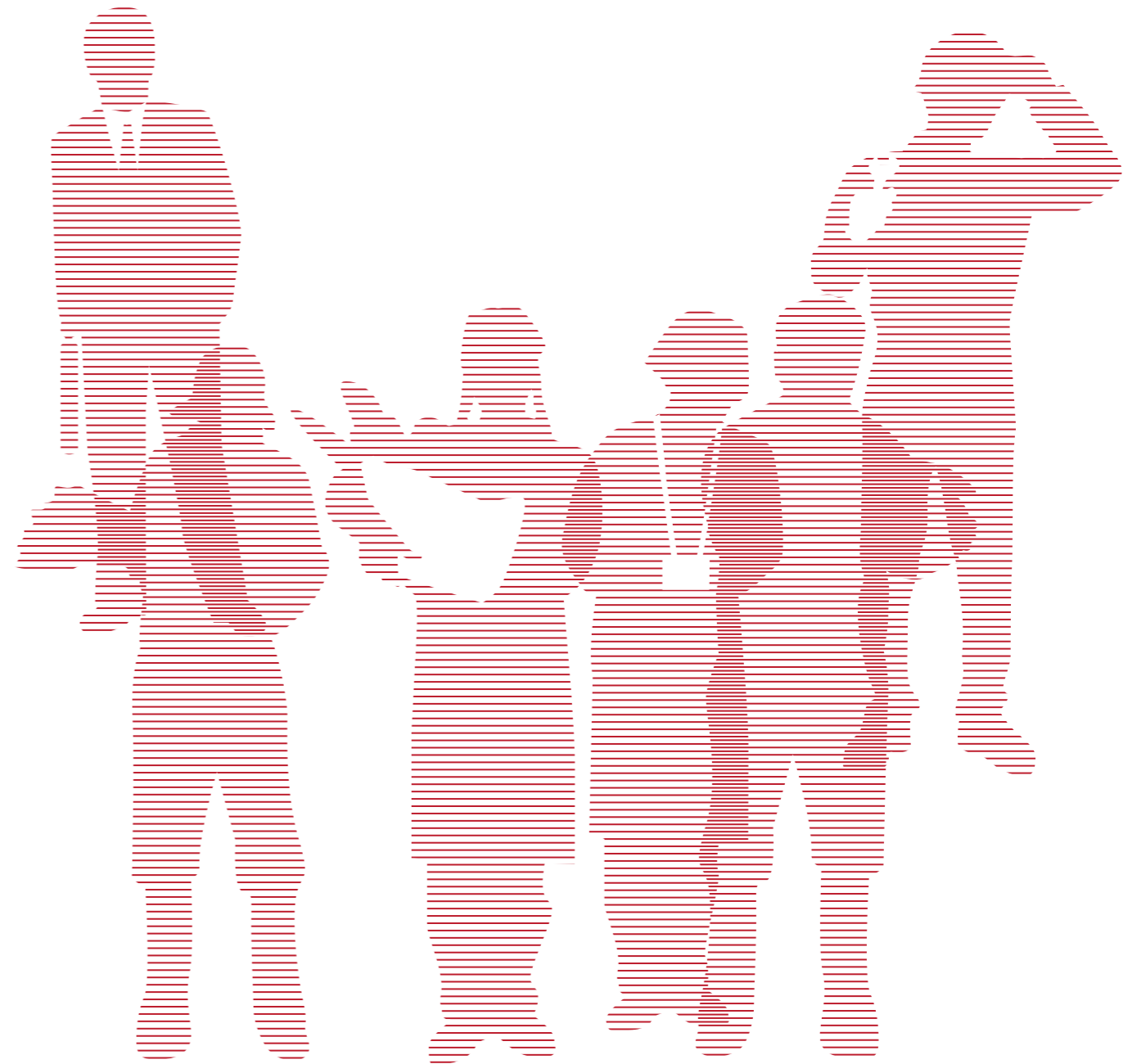


板橋区産業振興事業計画2025（概要版）

編集 板橋区産業経済部産業振興課  
〒173-8501 板橋区板橋二丁目65番6号  
TEL 03-3579-2193 FAX 03-3579-9756  
sg-senryaku@city.itabashi.tokyo.jp

令和4年3月発行

刊行物番号 R03-96



# 板橋区産業振興事業計画 2025 概要版



板橋区

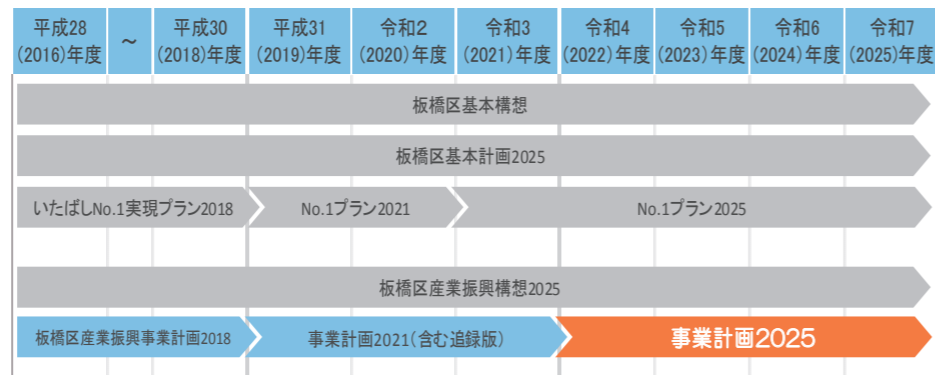
# 板橋区産業振興事業計画 2025 の概要

## 1. 計画策定の目的

新型コロナウイルス感染症拡大による「新たな日常」への対応や、AI・IoTをはじめとしたデジタル技術の発展、それらを活用したビジネスモデルの再構築（デジタルトランスフォーメーション【DX】）の広がりなど、区内産業を取り巻く環境は加速度的に変化し続けています。区内事業者が直面するそれらの経営課題に柔軟かつ的確に対応していくために、事業計画 2025 を策定します。

## 2. 計画の期間

事業計画 2025 の計画期間は、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの4ヶ年とし、区内産業の実態に即した施策展開を図るため、毎年度PDCA（Plan＝計画、Do＝実行、Check＝評価、Action＝改善）サイクルを繰り返し、4年後に改定を行います。



## 3. 計画の全体像

未来を輝かせる産業文化都市・いたばし

地元事業者が稼ぎ、雇用を創り、消費を生み出すとともに  
区民生活を豊かにするための産業活力を高め、持続可能なまちをめざす



- 創業支援施策の充実
- 円滑な事業承継・技能継承のサポート
- 農業支援者の人材育成とすそ野拡大
- 人材確保・就労支援の充実
- 「働き方改革」の推進
- 認定農業者制度の推進
- 区と会社のあり方の検討

- ビジネスモデルのデジタル化による生産性向上
- 長期的に持続可能な企業経営の推進
- 産業の垣根を越えた連携による板橋クオリティの追求
- 光学をはじめとした産学官連携の推進
- 板橋農業ブランドの推進

- 個店の魅力向上による集客力の強化
- 収穫体験事業の拡充
- 商店街のにぎわい創出と組織力強化に向けた支援
- 駅周辺拠点整備、地区計画との連携による産業の活性化

- 駅周辺拠点整備、地区計画との連携による産業の活性化
- 生産緑地法改正を踏まえた農地の活用と保全
- 区保有の産業支援施設の高度化
- 住工調和を踏まえた産業集積の維持発展

## 4. 板橋区産業振興事業計画2025の4つの展開

### 1 区内産業を支える人材の育成支援

低迷する区内創業率や事業承継・技能継承問題、新型コロナウイルス感染症拡大による雇用への影響を踏まえ、「人」にターゲットを絞った施策を掲げ、区内産業を支える人材の育成支援に重点的に取り組みます。

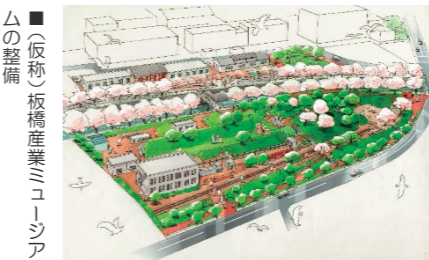


■創業4分野マスターコース

■企業活性化センター

### 2 板橋ブランドの構築と強化

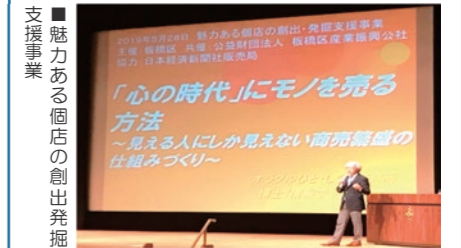
DXやSDGsなどの新たな潮流を的確に捉えるとともに、医工連携や都市農業、板橋のいっぴんや「(仮称)板橋産業ミュージアム」などの事業を強化することで、「板橋ブランド」として区内外に発信します。



△(仮称)板橋産業ミュージアムの整備

■SDGsをPR

### 3 地域の魅力再生とにぎわい創出



■魅力ある個店の創出発掘支援事業

■収穫体験

区の魅力的な特徴の一つである商店街の更なる活性化に向け、商店街の組織力強化や個店の経営力の向上を図ります。

また、収穫体験など、区民が農に触れられる事業を継続的に実施するとともに、さらなる充実に向け検討していきます。

### 4 まちづくりと連動した産業の維持発展



■板橋駅西口駅前広場整備計画イメージ図



■大山町クロスポイント周辺地区完成イメージ(大山町クロスポイント周辺地区市街地再開発組合より資料提供)

製造業における操業環境の維持・改善や、商店街の活性化、農地の活用と保全という視点から、まちづくりに取り組みます。

また、大規模民有地の土地利用転換への対応を進めるとともに、区が保有する産業支援施設のあり方を検討し、時代に合った機能の構築を図ります。

将来像

産業振興の進むべき方向

4つの展開

主な施策